表彰の種類	ゴールド賞					
受賞者	余市郡漁業協同組合 (北海道)	組合長名	篠谷 誠	推薦者	(公社)北海道海難防止・水難救済センター	
取組の概要	全組合員へライフジャケットを配布。定期的な海難防止講習会や救難所による救助訓練等を実施。					
功 績 事 項						
1 功績	漁船事故や海中転落による	死者·行方不明	者が25年間10カ月角	き生していない	い(令和7年8月現在)。	
2 取組内容	1. 海難防止パレードへの積極的な参加 2. 海難防止対策委員会の設置(昭和41年3月6日) 3. 余市救難所の毎年の活動 4. 海難防止講習会の開催 5. 全組合員ヘライフジャケットの配布 6. 地域住民へ対する海難防止啓発 漁業者の安全に関する取組を41年1カ月継続して実施している。					
3 推薦理由	余市郡漁協は、北海道の西部、積丹(しゃこたん)半島の東の付け根に位置し、北海道の中でも指折りの温暖な気候で、ニシン漁により発展し基礎を築いてきた。現在は、ニシンに代わって、「えび」、「いか」、「かれい」漁など各種漁業が盛んに行われており、安全面に対しても、早くから海難防止対策委員会を設置し、ライフジャケットの着用の徹底を図るなど、地道な活動が実を結び、事故の数も減り、今日現在では、海難事故死ゼロ8,700日以上を数える。また、レジャーの盛んな地域の一つであるため、広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴える広報啓発、いざという時のために備え、救難所の充実した救助訓練など長年に亘って実施し、道内漁協の中でも模範となる海難防止活動を実施している。					

	l					
表彰の種類	ゴールド賞					
受賞者	沖島漁業協同組合 (滋賀県)	組合長名	冨田 敏則	推薦者	滋賀県漁業協同組合連合会	
取組の概要	毎年の地元警察との共同訓練 員同士の安全対策に関する情			アットの点検ヤ	5講習会を実施。組合	
功 績 事 項						
1 功績	漁船事故や海中転落による	死者·行方不明	者が31年間5か月発	き生していない	心令和7年8月現在)。	
2 取組内容	1.ライフジャケット着用義務化以前より、組合員に対しライフジャケット着用の呼びかけを行っていた。 2.購買事業でのライフジャケット取り扱い 3.メーカーによるライフジャケットの点検や講習会など安全対策に関する取組を実施 4.毎年地元警察との共同訓練実施 5.水上安全協会に加盟し、湖上の安全を常に心がけている。 漁業者の安全に関する取組を19年6ヶ月継続して実施している。					
3 推薦理由	沖島漁協は日本唯一の淡水 所在からも船は生活に必須で 持ち、組合員や職員が声掛け 組合は水上安全協会に加盟 ず年々増加するレジャー等の	あり、ライフジャ を行い相互に記 しており、また	ァケット着用をはじめ、 忍識を高めている。 、地元警察との共同記	常に安全対	策に関する意識を高く	

表彰の種類	シルバー賞					
受賞者	西浅井漁業協同組合 (滋賀県)	組合長名	礒﨑 和仁	推薦者	滋賀県漁業協同組合連合会	
取組の概要	メーカー立会のもとにライフジャケットの点検や講習会を実施。組合員同士で安全操業に関する情報共有等積極的な声掛けの実施。					
功 績 事 項						
1 功績	漁船事故や海中転落によ	る死者・行方不	明者が46年間3か月	発生していない	い(令和7年8月現在)。	
2 取組内容	1.ライフジャケット着用義務た。 2.組合員同士で積極的に 3.メーカー主催の講習会や 4.水上安全協会に加盟し、 漁業者の安全に関する取	ちがけを行い、 は検を行うなと 湖上の安全を	常に港や湖上での安全 で安全対策に関する取 常に心がけている。	全確認を心が り組みを実施	けている。	
3 推薦理由	西浅井漁協は琵琶湖の最 して発足した漁協である。 その合併以前より長期間に 生していないことやメーカー 対する意識を高く持ち、安全 組合は水上安全協会に加 る。	こわたり漁船事 による講習会を をこころがけて	故であるなしにかかれ 開催するなど、常に役 行動している。	つらず、死亡者 足職員をはじ&	が が が が が が が な と した組合員が 安全に	

表彰の種類	ブロンズ賞					
受賞者	斜里第一漁業協同組合 (北海道) 組合長名 馬場 浩一 推薦者 (公社)北海道海難防 止・水難救済センター					
取組の概要	青年部等でのサバイバル訓練及び定期的な海難防止講習会の実施。広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴えるパレードの実施。					
功 績 事 項						
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が29年間発生していない(令和7年8月現在)。					
2 取組内容	1. 海難防止パレードへの積極的な参加 2. 海難防止対策委員会の設置 3. 斜里救難所の毎年の訓練 4. 海難防止講習会の開催 5. 青年部等のサバイバル訓練 漁業者の安全に関する取組を41年1ヵ月継続して実施している。					
3 推薦理由	斜里町は北海道の東、流氷が到来するオホーツク海に面し、世界自然遺産に登録された知床で知られている。漁協では、平成8年8月に発生した行方不明海難を機に、今まで以上に海難事故防止活動に尽力してきた。定期的に海難防止講習会の実施、また広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴えるパレード、いざという時のための救難所の充実した救助訓練など長年に亘って実施し、「知床遊覧船沈没事故」での捜索救助活動に尽力した。道内漁協の中でも模範となる海難防止活動を実施しており、現在海難事故死ゼロ10,000日を超える。					